

「Athena プログラム」提案とご協力のお願い

研究所長殿

日本物理学会では、国内(共同利用)研究機関が行う、以下のような国際版の **Women in Physics (WIP) 活躍支援事業**を提案致します。ご賛同・ご協力をお願い申し上げます。

「Athena プログラム」

外国籍の若手・中堅女性研究者が個人で、日本の最先端研究施設や研究環境が整っている日本の研究機関で、機関の制度に基づく一定の期間、施設利用あるいは共同研究を行う機会を提供する。このために必要な研究経費・渡航費・滞在費の相当額を、受け入れ研究機関が負担する。なお、来日研究者がその滞在中に、国内で開催される国際会議へ出席を希望する場合は、これを本プログラム活動の一環として支援する。

受け入れ女性研究者の公募条件(分野や人数/年など)や研究経費等の具体的な支援額の決定等、さらに、受け入れ女性研究者の審査・採択そのものも各研究機関の責任で独自に行う。

本プログラムにおいて、日本物理学会は、上記の国際版(WIP) 活躍支援事業の実施を国内(共同利用)研究機関に依頼し、毎年度その結果を各国の WIP 委員会へ通知するとともに、関連事項の問合せの窓口となり、外国人女性研究者の国内での研究活動を促進する役割を担います。

なお、2013年には、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) 主催の第12回アジア太平洋物理学会 (APPC12) が7月14日～19日に千葉幕張メッセで開催されます。そこで本プログラムの最初の取り組みとして、このAPPC12へのAAPPS地域からの女性研究者の参加を支援することを含めて、AAPPS地域からの女性研究者を対象とするプログラム (Athena 2013) を試みたいと思います。少々急なことですが、この支援が間に合えば、本プログラムにとっても幸先のよいスタートとなります。まずは、貴研究機関の、同プログラムに対する是非のご返答だけでもお早めにいただければ幸いです。

Athena プログラムへのご賛同・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

日本物理学会会長 家 泰弘

日本物理学会 男女共同参画推進委員会委員長 嘉規香織